

大阪大谷大学と東大谷高校が連携して心はぐくむ教員を育てます。



大谷学園 教員育成プログラム

大谷学園の建学の精神である「報恩感謝」の心を持ち、現代社会において必要とされる資質・能力を持つ小学校教員を育てます。また、さまざまなサポート制度を設け、小学校教員をめざす皆さんを学園全体でバックアップいたします。

卒業生からのメッセージ

大阪大谷大学 教育学部

東大谷に「教員育成プログラム」があることを説明会で知り、「夢を叶えるならこの高校だ」と思い、進学を決めました。「教員育成プログラム」は、在学中に学童保育の現場を体験することができ、さらに併設の大阪大谷大学で教育に関する専門分野を学ぶことができるプログラムです。高校在学中から、将来のことや教育についてしっかり考えることができるのが魅力だと思います。私はサッカー部に所属しており、クラブ活動と勉強の両立は簡単ではありませんでした。しかし、東大谷高校の先生方は私を全力でサポートしてくださいました。例えば、大学進学の際に必要な論文について、丁寧に教えていただきました。サポートしてくださった先生方への感謝の気持ちを忘れず、大学で勉学に励み、将来は一人ひとりのこどもたちと真摯に向き合える教師になりたいと思います。



7年一貫教育

心はぐくむ小学校教員をめざす多彩なプログラム



入学

高校でのまなび

教員について考え、土台をはぐくむ3年間

大学と高校の教員が連携して行います

多彩な育成カリキュラム

1年次では、教職ガイダンスや教職特別セミナーを実施。2年次では、教職専門講座や人権教育プログラムなどを通して教員をめざす土台となる資質の育成を図ります。3年次では、教育に関する卒業研究に取り組みます。また、教育現場体験などを通して高校在学中から実践的な経験を積みます。



東大谷高等学校 進学コース

入学

大学でのまなび

専門性の高い知識・技能を身につけ教育者としての心をはぐくむ4年間

サポート制度が充実

4年間アドバイザー教員が学びを全面サポート!

模擬授業、インターンシップなども充実!

プログラム受講生による情報交換会や勉強会も実施!

大阪大谷大学 教育学部 教育学科

学びを深める充実の施設・センター



STEAM Lab

プログラミング教育や情報活用能力、理数教育など今の教員に求められる能力を身につけるサポートをします。

STEAM… Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(教養・芸術)、Mathematics(数学)の分野を統合して諸問題を解決する手法



特別支援教育実践研究センター

障がいのある子どもたちやその家族に寄り添い支援していく方法について、実践的・理論的な学びをサポートします。



教職教育センター

教職に関する相談にきめ細やかに応じ、教員採用試験の合格を支援し、教職の夢を徹底サポートします。

合格

大阪大谷大学 教育学部

2024年3月卒業生 小学校採用実績

41名

(現役採用実人数)

大阪府トップレベル

大阪府/大阪市/堺市/守口市/和泉市/八尾市/門真市/京都府/奈良県/和歌山県/東京都/千葉県/横浜市/久留米市/福岡市など

教員採用試験

POINT 1

心はぐくむ小学校教員を支える充実のサポート体制

- 高校・大学の担当教員が一貫してサポートし、7年間で教員の夢を実現
- 高校在学中だけでなく大学進学後も充実した奨学金制度でサポート
- 高校在学中に大学講座に参加し、単位を取得可能
- 小学校だけでなく、専門性を高め、他校種の免許を取得することが可能
※取得可能な免許: 小学校、中学校・高等学校(英語・国語)、幼稚園、特別支援学校



POINT 2

心はぐくむ小学校教員に必要な6つのスキルの育成

ティーチングスキル (学習指導)

コミュニケーションスキル

コーチングスキル (学習動機)

マネジメントスキル (学級運営)

カウンセリングスキル (心理ケア)

教務事務対応スキル

POINT 3

心はぐくむ小学校教員を育てる3つの柱

大学教員による実践的な授業



<図画工作> 絵の具の不思議

絵の具を使った色々な表現方法を大学の先生から学びました。



<保健体育> みんなでからだづくり

運動の得意・得意に關係なく楽しめる運動を考えました。

教員の土台となる人間力の育成



採用試験を受験した先輩の話の間ごう

本校卒業生から教員採用試験への心構えや高校生のうちから大切にしておくべきことなどを学びます。



アイスブレイクをやってみよう

お互いに理解し、クラスの中で安心して過ごせるアクティビティを考えました。

教育現場の体験



「先生」としてのやりがいや、気を付けるべきことを、子どもたちと過ごす中で考えました。